

令和4年度 病院事業決算状況

都道府県名 岐阜県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	岐阜県総合医療センター	2
-	多治見病院	3
-	下呂温泉病院	4
岐阜市	岐阜市民病院	5
大垣市	大垣市民病院	6
多治見市	多治見市民病院	7
中津川市	総合病院 中津川市民病院	8
美濃市	美濃病院	9
羽島市	羽島市民病院	10
恵那市	市立恵那病院	11
恵那市	国民健康保険上矢作病院	12
土岐市	土岐市立総合病院・駄知診療所	13
飛騨市	国民健康保険飛騨市民病院	14
郡上市	郡上市民病院	15
郡上市	県北西部地域医療センター国保白鳥病院	16
下呂市	下呂市立金山病院	17
関ヶ原町	国保関ヶ原病院	18
東白川村	国保病院	19

東濃中部病院事務組合 (仮称) 公立東濃中部医療センター 20

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名			
病院名	岐阜県総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,978,742	
決算規模(千円)	961,418,272	
標準財政規模(千円)	484,482,950	
財政力指数	0.52697	
経常収支比率(%)	92.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	222.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	120,703			
1 経常収益	120,703			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	120,703			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	120,703			
2 経常費用	120,703			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	52.8
材料費	-	-	26.1	31.5
(うち薬品費)	-	-	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	13.9
減価償却費	-	-	8.7	7.7
経費	-	-	22.1	18.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	120,703			
(うち支払利息)	120,703	-	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	7,496,007			
経常収支比率	100.0		103.3	102.8
医業収支比率	-		85.5	90.3
修正医業収支比率	-		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	95.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名			
病院名	多治見病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,978,742	
決算規模(千円)	961,418,272	
標準財政規模(千円)	484,482,950	
財政力指数	0.52697	
経常収支比率(%)	92.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	222.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	33,398			
1 経常収益	33,398			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	33,398			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	33,398			
2 経常費用	33,398			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	52.8
材料費	-	-	26.1	31.5
(うち薬品費)	-	-	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	13.9
減価償却費	-	-	8.7	7.7
経費	-	-	22.1	18.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	33,398			
(うち支払利息)	33,398	-	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	1,481,476			
経常収支比率	100.0		103.3	102.8
医業収支比率	-		85.5	90.3
修正医業収支比率	-		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名			
病院名	下呂温泉病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,978,742	
決算規模(千円)	961,418,272	
標準財政規模(千円)	484,482,950	
財政力指数	0.52697	
経常収支比率(%)	92.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	222.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,784			
1 経常収益	6,784			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	6,784			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,784			
2 経常費用	6,784			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	63.7
材料費	-	-	26.1	21.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	-	-	8.7	9.7
経費	-	-	22.1	28.9
(うち委託料)	-	-	11.7	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	6,784			
(うち支払利息)	6,784	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	107,938			
経常収支比率	100.0		103.3	101.8
医業収支比率	-		85.5	80.8
修正医業収支比率	-		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	89.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		岐阜市			
病院名		岐阜市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	56,541 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	515	81.2	86.9	82.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	60.5	62.2	75.7
感染症	-	-	-	-
計	565	79.4	84.7	81.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	11.1	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	402,557	
決算規模(千円)	188,492,600	
標準財政規模(千円)	88,752,918	
財政力指数	0.84	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	23,298,215			
1 経常収益	23,298,215			
(1) 医業収益	20,880,300			
(うち修正医業収益)	20,517,435			
入院収益	13,169,408			
外来収益	7,041,118			
診療収入計	20,210,526			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	669,774			
(うち他会計負担金)	362,865			
(2) 医業外収益	2,417,915			
(うち国・都道府県補助金)	520,598			
(うち他会計補助・負担金)	796,949			
(うち長期前受金戻入)	749,642			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,812,862			
2 経常費用	22,812,862			
(1) 医業費用	21,492,322			
職員給与費	9,985,472	47.8	59.4	52.8
材料費	6,614,623	31.7	26.1	31.5
(うち薬品費)	4,838,262	23.2	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,759,112	8.4	11.8	13.9
減価償却費	1,333,121	6.4	8.7	7.7
経費	3,456,404	16.6	22.1	18.0
(うち委託料)	2,091,653	10.0	11.7	10.7
研究研修費	74,374			
資産減耗費	28,328			
(2) 医業外費用	1,320,540			
(うち支払利息)	77,859	0.4	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
損益	485,353			
純損益	485,353			
累積欠損金	305,753			
経常収支比率	102.1		103.3	102.8
医業収支比率	97.2		85.5	90.3
修正医業収支比率	95.5		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	5.0		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	5.6		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	5.0		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	97.0		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,875,504
1 固定資産	14,121,054
(1) 有形固定資産	13,701,118
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	419,936
2 流動資産	9,754,450
(1) 現金及び預金	5,943,123
(2) 未収金及び未収収益	3,738,878
(3) 貸倒引当金()	25,193
(4) 貯蔵品	97,642
3 繰延資産	-
負債合計	19,014,173
1 固定負債	10,468,625
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,996,200
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,472,425
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	4,165,542
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,273,632
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	660,223
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,057,217
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,380,006
(1) 長期前受金	15,609,058
(2) 長期前受金収益化累計額()	11,229,052
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,861,331
1 資本金	4,707,236
2 剰余金	154,095
(1) 資本剰余金	14,400
(2) 利益剰余金	139,695
負債・資本合計	23,875,504
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,159,814	1,159,814
資本勘定繰入	673,746	673,746
計	1,833,560	1,833,560

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名	大垣市				
病院名	大垣市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	79,046 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	771	69.5	67.6	65.9
療養	-	-	-	-
結核	40	17.5	20.5	15.9
精神	-	-	-	-
感染症	6	64.2	46.9	43.9
計	817	67.0	65.4	63.5
平均在院日数(一般病床のみ)		10.8	10.7	11.1

設立団体の状況		
人口(人)	158,286	
決算規模(千円)	65,604,456	
標準財政規模(千円)	36,955,716	
財政力指数	0.85	
経常収支比率(%)	88.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.1
	将来負担比率(%)	12.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	36,346,962			
1 経常収益	36,345,966			
(1) 医業収益	34,689,698			
(うち修正医業収益)	34,689,698			
入院収益	20,119,239			
外来収益	14,129,267			
診療収入計	34,248,506			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	441,192			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,656,268			
(うち国・都道府県補助金)	1,194,443			
(うち他会計補助・負担金)	169,411			
(うち長期前受金戻入)	72,311			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	996			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	35,758,410			
2 経常費用	35,475,111			
(1) 医業費用	33,441,975			
職員給与費	13,945,642	40.2	59.4	52.8
材料費	13,655,156	39.4	26.1	31.5
(うち薬品費)	8,653,595	24.9	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	4,831,776	13.9	11.8	13.9
減価償却費	1,517,992	4.4	8.7	7.7
経費	4,212,562	12.1	22.1	18.0
(うち委託料)	2,351,635	6.8	11.7	10.7
研究研修費	80,290			
資産減耗費	30,333			
(2) 医業外費用	2,033,136			
(うち支払利息)	82,844	0.2	1.0	0.9
(3) 特別損失	283,299			
損益	870,855			
純損益	588,552			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.5		103.3	102.8
医業収支比率	103.7		85.5	90.3
修正医業収支比率	103.7		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	0.5		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	0.5		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	0.5		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	102.0		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	53,919,928
1 固定資産	20,033,043
(1) 有形固定資産	17,839,055
(2) 無形固定資産	444
(3) 投資その他の資産	2,193,544
2 流動資産	33,886,885
(1) 現金及び預金	27,240,225
(2) 未収金及び未収収益	6,352,090
(3) 貸倒引当金()	97,210
(4) 貯蔵品	391,780
3 繰延資産	-
負債合計	11,167,361
1 固定負債	6,902,920
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,783,468
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,056,290
(7) 一ス債務	63,162
2 流動負債	3,579,735
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	270,693
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	831,500
(6) リ一ス債務	64,506
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,388,036
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	684,706
(1) 長期前受金	1,609,763
(2) 長期前受金収益化累計額()	925,057
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	42,752,567
1 資本金	22,495,298
2 剰余金	20,257,269
(1) 資本剰余金	149,109
(2) 利益剰余金	20,108,160
負債・資本合計	53,919,928
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	772,468	169,411
資本勘定繰入	699,298	169,487
計	1,471,766	338,898

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 岐阜県	
市町村・組合名	多治見市				
病院名	多治見市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,779 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	250	75.4	73.9	71.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	75.4	73.9	71.6
平均在院日数(一般病床のみ)		15.5	13.2	15.3

設立団体の状況		
人口(人)	106,732	
決算規模(千円)	44,989,859	
標準財政規模(千円)	23,847,617	
財政力指数	0.70	
経常収支比率(%)	87.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-3.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	585,942			
1 経常収益	585,942			
(1) 医業収益	81,632			
(うち修正医業収益)	9,251			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	81,632			
(うち他会計負担金)	72,381			
(2) 医業外収益	504,310			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	301,849			
(うち長期前受金戻入)	177,563			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	599,980			
2 経常費用	599,980			
(1) 医業費用	540,644			
職員給与費	-	-	59.4	63.7
材料費	-	-	26.1	21.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	175,070	214.5	8.7	9.7
経費	362,661	444.3	22.1	28.9
(うち委託料)	11,589	14.2	11.7	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	2,913			
(2) 医業外費用	59,336			
(うち支払利息)	43,379	53.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-14,038			
純損益	-14,038			
累積欠損金	1,701,058			
経常収支比率	97.7		103.3	101.8
医業収支比率	15.1		85.5	80.8
修正医業収支比率	1.7		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	63.9		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	458.4		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	63.9		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	35.3		91.9	89.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,041,640
1 固定資産	5,520,435
(1) 有形固定資産	5,406,050
(2) 無形固定資産	2,906
(3) 投資その他の資産	111,479
2 流動資産	521,205
(1) 現金及び預金	521,205
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,612,700
1 固定負債	3,207,105
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,157,313
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	49,792
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	284,571
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	278,084
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,487
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,121,024
(1) 長期前受金	3,058,578
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,937,554
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,428,940
1 資本金	1,693,432
2 剰余金	-264,492
(1) 資本剰余金	1,436,566
(2) 利益剰余金	-1,701,058
負債・資本合計	6,041,640
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	200,970	374,230
資本勘定繰入	138,525	138,525
計	339,495	512,755

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2083.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名	中津川市				
病院名	総合病院 中津川市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	25,973 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	360	61.1	65.5	64.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	360	61.1	65.5	64.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	12.2	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	76,570	
決算規模(千円)	43,078,716	
標準財政規模(千円)	23,920,855	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	90.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,326,723			
1 経常収益	9,326,723			
(1) 医業収益	7,606,343			
(うち修正医業収益)	7,427,039			
入院収益	4,848,162			
外来収益	2,259,696			
診療収入計	7,107,858			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	498,485			
(うち他会計負担金)	179,304			
(2) 医業外収益	1,720,380			
(うち国・都道府県補助金)	1,040,046			
(うち他会計補助・負担金)	581,510			
(うち長期前受金戻入)	28,304			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,830,189			
2 経常費用	8,807,289			
(1) 医業費用	8,414,598			
職員給与費	4,448,884	58.5	59.4	59.0
材料費	1,864,629	24.5	26.1	25.6
(うち薬品費)	900,252	11.8	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	964,377	12.7	11.8	11.2
減価償却費	403,235	5.3	8.7	8.6
経費	1,651,096	21.7	22.1	21.3
(うち委託料)	1,027,946	13.5	11.7	11.6
研究研修費	16,178			
資産減耗費	30,576			
(2) 医業外費用	392,691			
(うち支払利息)	25,317	0.3	1.0	1.1
(3) 特別損失	22,900			
損益	519,434			
純損益	496,534			
累積欠損金	6,636,239			
経常収支比率	105.9		103.3	104.8
医業収支比率	90.4		85.5	87.0
修正医業収支比率	88.3		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	8.2		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	10.0		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	8.2		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	97.3		91.9	95.1

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,480,290
1 固定資産	5,390,841
(1) 有形固定資産	4,842,183
(2) 無形固定資産	1,778
(3) 投資その他の資産	546,880
2 流動資産	4,089,449
(1) 現金及び預金	2,673,872
(2) 未収金及び未収収益	1,289,940
(3) 貸倒引当金()	697
(4) 貯蔵品	126,334
3 繰延資産	-
負債合計	5,700,262
1 固定負債	3,993,072
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,134,904
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,854,435
(7) 一ス債務	3,733
2 流動負債	1,436,402
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	503,863
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	239,356
(6) リ一ス債務	7,099
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	650,987
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	270,788
(1) 長期前受金	959,785
(2) 長期前受金収益化累計額()	688,997
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,780,028
1 資本金	10,389,935
2 剰余金	-6,609,907
(1) 資本剰余金	26,332
(2) 利益剰余金	-6,636,239
負債・資本合計	9,480,290
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	754,595	760,814
資本勘定繰入	220,220	220,220
計	974,815	981,034

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	87.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 岐阜県	
市町村・組合名	美濃市				
病院名	美濃病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	14,289 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	122	86.2	85.3	85.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	122	86.2	85.3	85.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	12.3	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	19,247	
決算規模(千円)	10,924,849	
標準財政規模(千円)	6,003,454	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	92.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	24.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,839,836			
1 経常収益	2,839,836			
(1) 医業収益	2,594,386			
(うち修正医業収益)	2,578,010			
入院収益	1,574,641			
外来収益	792,636			
診療収入計	2,367,277			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	227,109			
(うち他会計負担金)	16,376			
(2) 医業外収益	245,450			
(うち国・都道府県補助金)	177,092			
(うち他会計補助・負担金)	37,035			
(うち長期前受金戻入)	11,091			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,839,585			
2 経常費用	2,836,526			
(1) 医業費用	2,699,951			
職員給与費	1,298,056	50.0	59.4	67.0
材料費	326,848	12.6	26.1	18.2
(うち薬品費)	135,897	5.2	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	190,951	7.4	11.8	9.4
減価償却費	211,615	8.2	8.7	10.2
経費	854,172	32.9	22.1	28.8
(うち委託料)	412,298	15.9	11.7	13.2
研究研修費	5,372			
資産減耗費	3,888			
(2) 医業外費用	136,575			
(うち支払利息)	29,095	1.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	3,059			
損益	3,310			
純損益	251			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.1		103.3	104.5
医業収支比率	96.1		85.5	80.1
修正医業収支比率	95.5		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	1.9		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	2.1		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	1.9		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	98.2		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,093,129
1 固定資産	4,107,227
(1) 有形固定資産	3,792,589
(2) 無形固定資産	212
(3) 投資その他の資産	314,426
2 流動資産	2,985,902
(1) 現金及び預金	2,616,336
(2) 未収金及び未収収益	366,093
(3) 貸倒引当金()	2,905
(4) 貯蔵品	6,378
3 繰延資産	-
負債合計	2,805,355
1 固定負債	2,218,533
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,218,533
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	480,255
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	260,202
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	82,468
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	137,497
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	106,567
(1) 長期前受金	221,892
(2) 長期前受金収益化累計額()	115,325
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,287,774
1 資本金	3,770,178
2 剰余金	517,596
(1) 資本金剰余金	208,459
(2) 利益剰余金	309,137
負債・資本合計	7,093,129
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	59,142	53,411
資本勘定繰入	211,338	161,214
計	270,480	214,625

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		羽島市			
病院名		羽島市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,158 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	271	66.9	60.7	59.2
療養	-	-	-	-
結核	10	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	281	64.5	58.6	57.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	11.1	12.8

設立団体の状況		
人口(人)	65,649	
決算規模(千円)	24,849,234	
標準財政規模(千円)	13,907,011	
財政力指数	0.76	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.9
	将来負担比率(%)	8.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,060,152			
1 経常収益	6,053,836			
(1) 医業収益	4,649,645			
(うち修正医業収益)	4,511,572			
入院収益	3,069,560			
外来収益	1,324,299			
診療収入計	4,393,859			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	255,786			
(うち他会計負担金)	138,073			
(2) 医業外収益	1,404,191			
(うち国・都道府県補助金)	873,124			
(うち他会計補助・負担金)	476,862			
(うち長期前受金戻入)	28,915			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,316			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,124,820			
2 経常費用	6,081,660			
(1) 医業費用	5,832,889			
職員給与費	3,058,976	65.8	59.4	63.7
材料費	788,930	17.0	26.1	21.0
(うち薬品費)	406,757	8.7	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	373,626	8.0	11.8	10.1
減価償却費	371,960	8.0	8.7	9.7
経費	1,583,108	34.0	22.1	28.9
(うち委託料)	731,815	15.7	11.7	13.6
研究研修費	15,241			
資産減耗費	14,674			
(2) 医業外費用	248,771			
(うち支払利息)	21,780	0.5	1.0	1.1
(3) 特別損失	43,160			
経常損益	-27,824			
純損益	-64,668			
累積欠損金	3,102,069			
経常収支比率	99.5		103.3	101.8
医業収支比率	79.7		85.5	80.8
修正医業収支比率	77.3		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	10.2		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.2		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	10.1		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	89.4		91.9	89.2

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,462,912
1 固定資産	4,040,058
(1) 有形固定資産	3,758,010
(2) 無形固定資産	260,488
(3) 投資その他の資産	21,560
2 流動資産	1,422,854
(1) 現金及び預金	645,511
(2) 未収金及び未収収益	747,325
(3) 貸倒引当金()	1,022
(4) 貯蔵品	31,040
3 繰延資産	-
負債合計	2,588,423
1 固定負債	1,474,670
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,402,119
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	72,551
2 流動負債	1,004,383
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	326,621
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	190,034
(6) リリース債務	84,962
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	388,351
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	109,370
(1) 長期前受金	413,678
(2) 長期前受金収益化累計額()	304,308
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,874,489
1 資本金	5,967,383
2 剰余金	-3,092,894
(1) 資本剰余金	9,175
(2) 利益剰余金	-3,102,069
負債・資本合計	5,462,912
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	614,682	614,935
資本勘定繰入	81,075	81,075
計	695,757	696,010

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		恵那市			
病院名		市立恵那病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,063 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救 へ 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	199	58.4	58.4	56.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	58.4	58.4	56.1
平均在院日数(一般病床のみ)		9.6	9.0	10.3

設立団体の状況		
人口(人)	47,774	
決算規模(千円)	29,897,911	
標準財政規模(千円)	17,555,492	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	87.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	461,643			
1 経常収益	461,643			
(1) 医業収益	188,183			
(うち修正医業収益)	6,912			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	188,183			
(うち他会計負担金)	181,271			
(2) 医業外収益	273,460			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	195,803			
(うち長期前受金戻入)	34,129			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	874,975			
2 経常費用	874,975			
(1) 医業費用	810,265			
職員給与費	16,427	8.7	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	594,065	315.7	8.7	10.2
経費	198,016	105.2	22.1	28.8
(うち委託料)	1,023	0.5	11.7	13.2
研究研修費	618			
資産減耗費	1,139			
(2) 医業外費用	64,710			
(うち支払利息)	29,863	15.9	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-413,332			
純損失	-413,332			
累積欠損金	2,137,527			
経常収支比率	52.8		103.3	104.5
医業収支比率	23.2		85.5	80.1
修正医業収支比率	0.9		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	81.7		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	200.4		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	81.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	9.7		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,083,881
1 固定資産	7,501,326
(1) 有形固定資産	6,773,043
(2) 無形固定資産	259,094
(3) 投資その他の資産	469,189
2 流動資産	3,582,555
(1) 現金及び預金	2,891,199
(2) 未収金及び未収収益	679,236
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	7,120
3 繰延資産	-
負債合計	4,888,692
1 固定負債	3,500,596
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,441,867
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	58,729
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	534,963
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	334,254
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	35,086
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	159,347
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	853,133
(1) 長期前受金	1,755,205
(2) 長期前受金収益化累計額()	902,072
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,195,189
1 資本金	8,453,308
2 剰余金	-2,258,119
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,258,119
負債・資本合計	11,083,881
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	213,031	377,074
資本勘定繰入	98,861	181,844
計	311,892	558,918

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	251.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 岐阜県	
市町村・組合名	恵那市				
病院名	国民健康保険上矢作病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,238 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救 臨 へ 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	56	46.6	51.2	62.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	46.6	51.2	62.9
平均在院日数(一般病床のみ)		9.0	11.0	11.0

設立団体の状況	
人口(人)	47,774
決算規模(千円)	29,897,911
標準財政規模(千円)	17,555,492
財政力指数	0.45
経常収支比率(%)	87.4
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - - -

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	826,641			
1 経常収益	826,641			
(1) 医業収益	712,377			
(うち修正医業収益)	632,460			
入院収益	312,794			
外来収益	278,979			
診療収入計	591,773			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	120,604			
(うち他会計負担金)	79,917			
(2) 医業外収益	114,264			
(うち国・都道府県補助金)	6,091			
(うち他会計補助・負担金)	101,476			
(うち長期前受金戻入)	2,729			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	871,044			
2 経常費用	871,044			
(1) 医業費用	837,461			
職員給与費	495,882	69.6	59.4	76.5
材料費	128,116	18.0	26.1	14.9
(うち薬品費)	106,598	15.0	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,897	2.9	11.8	6.4
減価償却費	51,811	7.3	8.7	11.5
経費	160,507	22.5	22.1	32.6
(うち委託料)	84,622	11.9	11.7	14.8
研究研修費	691			
資産減耗費	454			
(2) 医業外費用	33,583			
(うち支払利息)	776	0.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	-44,403		
	純損益	-44,403		
累積欠損金	131,092			
経常収支比率	94.9		103.3	101.5
医業収支比率	85.1		85.5	73.2
修正医業収支比率	75.5		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	21.9		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	25.5		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	21.9		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	74.1		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,083,881
1 固定資産	7,501,326
(1) 有形固定資産	6,773,043
(2) 無形固定資産	259,094
(3) 投資その他の資産	469,189
2 流動資産	3,582,555
(1) 現金及び預金	2,891,199
(2) 未収金及び未収収益	679,236
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	7,120
3 繰延資産	-
負債合計	4,888,692
1 固定負債	3,500,596
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,441,867
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	58,729
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	534,963
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	334,254
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	35,086
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	159,347
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	853,133
(1) 長期前受金	1,755,205
(2) 長期前受金収益化累計額()	902,072
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,195,189
1 資本金	8,453,308
2 剰余金	-2,258,119
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,258,119
負債・資本合計	11,083,881
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	176,294	181,393
資本勘定繰入	28,585	31,225
計	204,879	212,618

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	251.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		土岐市			
病院名		土岐市立総合病院・駄知診療所			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,807 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	350	28.3	28.7	30.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	350	28.3	28.7	30.6
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	14.9	16.7

設立団体の状況		
人口(人)	55,348	
決算規模(千円)	25,390,534	
標準財政規模(千円)	13,457,793	
財政力指数	0.66	
経常収支比率(%)	93.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	760,242			
1 経常収益	760,124			
(1) 医業収益	3,881			
(うち修正医業収益)	3,881			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	3,881			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	756,243			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	522,506			
(うち長期前受金戻入)	219,518			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	118			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	916,835			
2 経常費用	916,835			
(1) 医業費用	672,117			
職員給与費	-	-	59.4	59.0
材料費	-	-	26.1	25.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	320,890	8268.2	8.7	8.6
経費	350,693	9036.2	22.1	21.3
(うち委託料)	5,244	135.1	11.7	11.6
研究研修費	59			
資産減耗費	475			
(2) 医業外費用	244,718			
(うち支払利息)	21,129	544.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-156,711			
純損失	-156,593			
累積欠損金	7,033,958			
経常収支比率	82.9		103.3	104.8
医業収支比率	0.6		85.5	87.0
修正医業収支比率	0.6		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	68.7		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	13463.2		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	68.7		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	25.9		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,780,260
1 固定資産	4,324,887
(1) 有形固定資産	4,307,422
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	17,465
2 流動資産	455,373
(1) 現金及び預金	422,940
(2) 未収金及び未収収益	40,076
(3) 貸倒引当金()	7,644
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,020,165
1 固定負債	902,547
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	757,547
(2) その他の企業債	135,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	375,045
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	208,598
(2) その他の企業債	135,000
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,447
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	742,573
(1) 長期前受金	1,490,061
(2) 長期前受金収益化累計額()	747,488
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,760,095
1 資本金	9,364,294
2 剰余金	-6,604,199
(1) 資本剰余金	429,759
(2) 利益剰余金	-7,033,958
負債・資本合計	4,780,260
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	5,520	522,506
資本勘定繰入	110,391	280,451
計	115,911	802,957

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	181240.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名
			岐阜県
市町村・組合名	飛騨市		
病院名	国民健康保険飛騨市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ト透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,237 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	15	指定病院の状況	救へ輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	54	73.0	72.7	65.1
療養	27	81.0	75.5	65.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	81	75.7	73.6	65.4
平均在院日数(一般病床のみ)		20.5	14.9	17.9

設立団体の状況		
人口(人)	22,538	
決算規模(千円)	22,068,907	
標準財政規模(千円)	10,722,261	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	93.0	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,667,381			
1 経常収益	1,647,228			
(1) 医業収益	1,168,352			
(うち修正医業収益)	1,130,361			
入院収益	587,009			
外来収益	440,558			
診療収入計	1,027,567			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	140,785			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	478,876			
(うち国・都道府県補助金)	39,133			
(うち他会計補助・負担金)	242,725			
(うち長期前受金戻入)	41,322			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	20,153			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,722,332			
2 経常費用	1,712,307			
(1) 医業費用	1,526,251			
職員給与費	691,654	59.2	59.4	76.5
材料費	149,112	12.8	26.1	14.9
(うち薬品費)	52,579	4.5	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	94,162	8.1	11.8	6.4
減価償却費	119,683	10.2	8.7	11.5
経費	555,588	47.6	22.1	32.6
(うち委託料)	147,332	12.6	11.7	14.8
研究研修費	2,539			
資産減耗費	7,675			
(2) 医業外費用	186,056			
(うち支払利息)	5,910	0.5	1.0	1.3
(3) 特別損失	10,025			
損益	-65,079			
純損益	-54,951			
累積欠損金	519,403			
経常収支比率	96.2		103.3	101.5
医業収支比率	76.6		85.5	73.2
修正医業収支比率	74.1		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	17.0		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	24.0		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	16.8		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	79.8		91.9	78.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,435,533
1 固定資産	1,515,897
(1) 有形固定資産	1,515,793
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	104
2 流動資産	1,919,636
(1) 現金及び預金	1,618,680
(2) 未収金及び未収収益	286,853
(3) 貸倒引当金()	605
(4) 貯蔵品	9,708
3 繰延資産	-
負債合計	1,267,811
1 固定負債	477,958
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	477,958
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	501,206
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	83,367
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	54,137
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	358,702
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	288,647
(1) 長期前受金	964,594
(2) 長期前受金収益化累計額()	675,947
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,167,722
1 資本金	2,133,448
2 剰余金	34,274
(1) 資本剰余金	139,450
(2) 利益剰余金	-105,176
負債・資本合計	3,435,533
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	324,653	280,716
資本勘定繰入	33,200	20,984
計	357,853	301,700

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	44.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		郡上市			
病院名		郡上市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	15,089 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	11	指定病院の状況	救臨へ		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	108	77.0	80.5	84.0
療養	42	-	-	58.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	77.0	80.5	76.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.5	14.4	14.2

設立団体の状況		
人口(人)	38,997	
決算規模(千円)	29,247,711	
標準財政規模(千円)	17,941,813	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	83.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	70.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,909,966			
1 経常収益	2,903,720			
(1) 医業収益	2,506,524			
(うち修正医業収益)	2,477,193			
入院収益	1,309,426			
外来収益	1,014,303			
診療収入計	2,323,729			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	182,795			
(うち他会計負担金)	29,331			
(2) 医業外収益	397,196			
(うち国・都道府県補助金)	179,547			
(うち他会計補助・負担金)	167,840			
(うち長期前受金戻入)	23,044			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,246			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,189,054			
2 経常費用	3,176,830			
(1) 医業費用	2,994,974			
職員給与費	1,641,519	65.5	59.4	67.0
材料費	447,063	17.8	26.1	18.2
(うち薬品費)	257,730	10.3	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	170,400	6.8	11.8	9.4
減価償却費	239,516	9.6	8.7	10.2
経費	660,307	26.3	22.1	28.8
(うち委託料)	233,306	9.3	11.7	13.2
研究研修費	4,177			
資産減耗費	2,392			
(2) 医業外費用	181,856			
(うち支払利息)	74,660	3.0	1.0	1.1
(3) 特別損失	12,224			
損益	-273,110			
純損益	-279,088			
累積欠損金	2,024,031			
経常収支比率	91.4		103.3	104.5
医業収支比率	83.7		85.5	80.1
修正医業収支比率	82.7		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	6.8		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	7.9		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	6.8		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	85.2		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,931,756
1 固定資産	6,182,637
(1) 有形固定資産	6,178,611
(2) 無形固定資産	3,213
(3) 投資その他の資産	813
2 流動資産	749,119
(1) 現金及び預金	10,941
(2) 未収金及び未収収益	707,780
(3) 貸倒引当金()	9,251
(4) 貯蔵品	39,649
3 繰延資産	-
負債合計	6,157,293
1 固定負債	4,245,273
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,608,514
(2) その他の企業債	617,765
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	18,994
2 流動負債	1,531,826
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	459,187
(2) その他の企業債	6,935
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	145,383
(6) リ一ス債務	6,891
(7) 一時借入金	520,898
(8) 未払金及び未払費用	388,553
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	380,194
(1) 長期前受金	909,887
(2) 長期前受金収益化累計額()	529,693
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	774,463
1 資本金	3,844,680
2 剰余金	-3,070,217
(1) 資本剰余金	22,893
(2) 利益剰余金	-3,093,110
負債・資本合計	6,931,756
不良債務	323,520
実質資金不足額	323,520
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	340,143	197,171
資本勘定繰入	196,786	116,204
計	536,929	313,375

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	323,520	9.3
令和3年度	-	-
令和2年度	137,015	4.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	89.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	941,285
地財法上の資金不足比率(%)	27.1

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		郡上市			
病院名		県北西部地域医療センター国保白鳥病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,393 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救		
許可公営企業	許可	看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	46	69.0	73.2	66.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	46	69.0	73.2	66.2
平均在院日数(一般病床のみ)		19.7	19.8	17.6

設立団体の状況		
人口(人)	38,997	
決算規模(千円)	29,247,711	
標準財政規模(千円)	17,941,813	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	83.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	70.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,173,869			
1 経常収益	1,173,590			
(1) 医業収益	960,764			
(うち修正医業収益)	939,647			
入院収益	402,939			
外来収益	377,825			
診療収入計	780,764			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	180,000			
(うち他会計負担金)	21,117			
(2) 医業外収益	212,826			
(うち国・都道府県補助金)	31,271			
(うち他会計補助・負担金)	148,120			
(うち長期前受金戻入)	24,931			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	279			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,218,696			
2 経常費用	1,214,165			
(1) 医業費用	1,178,838			
職員給与費	774,692	80.6	59.4	87.7
材料費	100,512	10.5	26.1	13.6
(うち薬品費)	35,632	3.7	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	55,972	5.8	11.8	5.9
減価償却費	62,984	6.6	8.7	12.7
経費	236,883	24.7	22.1	45.1
(うち委託料)	71,357	7.4	11.7	21.3
研究研修費	3,195			
資産減耗費	572			
(2) 医業外費用	35,327			
(うち支払利息)	12,334	1.3	1.0	1.0
(3) 特別損失	4,531			
経常損益	-40,575			
純損益	-44,827			
累積欠損金	1,069,079			
経常収支比率	96.7		103.3	101.7
医業収支比率	81.5		85.5	62.5
修正医業収支比率	79.7		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	14.4		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	17.6		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	14.4		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	82.7		91.9	67.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,931,756
1 固定資産	6,182,637
(1) 有形固定資産	6,178,611
(2) 無形固定資産	3,213
(3) 投資その他の資産	813
2 流動資産	749,119
(1) 現金及び預金	10,941
(2) 未収金及び未収収益	707,780
(3) 貸倒引当金()	9,251
(4) 貯蔵品	39,649
3 繰延資産	-
負債合計	6,157,293
1 固定負債	4,245,273
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,608,514
(2) その他の企業債	617,765
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	18,994
2 流動負債	1,531,826
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	459,187
(2) その他の企業債	6,935
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	145,383
(6) リ一ス債務	6,891
(7) 一時借入金	520,898
(8) 未払金及び未払費用	388,553
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	380,194
(1) 長期前受金	909,887
(2) 長期前受金収益化累計額()	529,693
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	774,463
1 資本金	3,844,680
2 剰余金	-3,070,217
(1) 資本剰余金	22,893
(2) 利益剰余金	-3,093,110
負債・資本合計	6,931,756
不良債務	323,520
実質資金不足額	323,520
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	215,624	169,237
資本勘定繰入	76,052	71,363
計	291,676	240,600

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	323,520	9.3
令和3年度	-	-
令和2年度	137,015	4.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	89.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	941,285
地財法上の資金不足比率(%)	27.1

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名	下呂市				
病院名	下呂市立金山病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,954 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	50	46.2	57.5	58.6
療養	49	44.9	41.2	49.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	45.5	49.4	53.9
平均在院日数(一般病床のみ)		16.4	16.8	15.2

設立団体の状況		
人口(人)	30,428	
決算規模(千円)	25,993,985	
標準財政規模(千円)	13,775,969	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	88.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.6
	将来負担比率(%)	9.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,362,015			
1 経常収益	1,362,015			
(1) 医業収益	939,829			
(うち修正医業収益)	903,535			
入院収益	435,366			
外来収益	408,826			
診療収入計	844,192			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	95,637			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	422,186			
(うち国・都道府県補助金)	22,519			
(うち他会計補助・負担金)	372,233			
(うち長期前受金戻入)	21,846			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,432,618			
2 経常費用	1,432,618			
(1) 医業費用	1,374,566			
職員給与費	777,795	82.8	59.4	76.5
材料費	162,037	17.2	26.1	14.9
(うち薬品費)	53,399	5.7	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	105,579	11.2	11.8	6.4
減価償却費	88,504	9.4	8.7	11.5
経費	343,896	36.6	22.1	32.6
(うち委託料)	159,226	16.9	11.7	14.8
研究研修費	1,904			
資産減耗費	430			
(2) 医業外費用	58,052			
(うち支払利息)	11,536	1.2	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	95.1		103.3	101.5
医業収支比率	68.4		85.5	73.2
修正医業収支比率	65.7		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	30.0		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	43.5		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	30.0		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	66.6		91.9	78.8

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,964,931
1 固定資産	1,780,518
(1) 有形固定資産	1,710,764
(2) 無形固定資産	18,070
(3) 投資その他の資産	51,684
2 流動資産	184,413
(1) 現金及び預金	30,809
(2) 未収金及び未収収益	144,466
(3) 貸倒引当金()	494
(4) 貯蔵品	4,632
3 繰延資産	-
負債合計	2,089,239
1 固定負債	1,315,700
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,120,617
(2) その他の企業債	195,083
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	275,496
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	106,599
(2) その他の企業債	4,117
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	44,039
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	40,000
(8) 未払金及び未払費用	58,928
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	498,043
(1) 長期前受金	694,045
(2) 長期前受金収益化累計額()	196,002
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-124,308
1 資本金	1,629,031
2 剰余金	-1,753,339
(1) 資本剰余金	26,366
(2) 利益剰余金	-1,779,705
負債・資本合計	1,964,931
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	124,308
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	535,661	408,527
資本勘定繰入	51,507	51,507
計	587,168	460,034

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	191.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	179,567
地財法上の資金不足比率(%)	19.1

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名	関ヶ原町		
病院名	国保関ヶ原病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	6,610	
決算規模(千円)	4,275,474	
標準財政規模(千円)	2,943,413	
財政力指数	0.47	
経常収支比率(%)	86.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	23.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,325			
1 経常収益	12,325			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	12,325			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,325			
2 経常費用	12,325			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	76.5
材料費	-	-	26.1	14.9
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.4
減価償却費	-	-	8.7	11.5
経費	-	-	22.1	32.6
(うち委託料)	-	-	11.7	14.8
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	12,325			
(うち支払利息)	12,325	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.5
医業収支比率	-		85.5	73.2
修正医業収支比率	-		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	78.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	6,191	-
資本勘定繰入	28,237	-
計	34,428	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名	東白川村		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,016	
決算規模(千円)	2,916,919	
標準財政規模(千円)	1,734,494	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	97.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.8
	将来負担比率(%)	19.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	164			
1 経常収益	164			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	164			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	164			
2 経常費用	164			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	87.7
材料費	-	-	26.1	13.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.9
減価償却費	-	-	8.7	12.7
経費	-	-	22.1	45.1
(うち委託料)	-	-	11.7	21.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	164			
(うち支払利息)	164	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.7
医業収支比率	-		85.5	62.5
修正医業収支比率	-		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	67.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,724
1 固定資産	7,724
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	7,724
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	7,724
1 固定負債	7,724
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,724
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	7,724
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	107	-
資本勘定繰入	408	-
計	515	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名	東濃中部病院事務組合		
病院名	(仮称)公立東濃中部医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	否
DPC対象病院	-	経営形態	-
		類似区分	建設中

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	147,730			
1 経常収益	147,730			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	147,730			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	146,882			
(うち長期前受金戻入)	652			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	159,670			
2 経常費用	159,670			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	-
材料費	-	-	26.1	-
(うち薬品費)	-	-	14.0	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	-
減価償却費	-	-	8.7	-
経費	-	-	22.1	-
(うち委託料)	-	-	11.7	-
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	159,670			
(うち支払利息)	-	-	1.0	-
(3) 特別損失	-			
経常損益	-11,940			
純損益	-11,940			
累積欠損金	11,940			
経常収支比率	92.5		103.3	95.9
医業収支比率	-		85.5	-
修正医業収支比率	-		82.8	-
他会計繰入金対経常収益比率	99.4		11.1	99.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	-
他会計繰入金対総収益比率	99.4		11.0	99.7
実質収益対経常費用比率	0.5		91.9	0.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	527,667
1 固定資産	144,020
(1) 有形固定資産	141,400
(2) 無形固定資産	2,608
(3) 投資その他の資産	12
2 流動資産	383,647
(1) 現金及び預金	383,647
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	515,017
1 固定負債	47,250
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	47,250
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	131,300
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,250
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	121,045
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	336,467
(1) 長期前受金	337,119
(2) 長期前受金収益化累計額()	652
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	12,650
1 資本金	24,590
2 剰余金	-11,940
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-11,940
負債・資本合計	527,667
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	146,882
資本勘定繰入	18,338	272,455
計	18,338	419,337

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。